

第78期  
年次報告書  
2023.4.1～2024.3.31



新中期経営計画を策定。  
強固な経営基盤の確立と  
高い収益性の実現で  
グループの成長を加速させます。

代表取締役社長

橋爪康至



(1)事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の扱いが感染症法の「5類」に移行し、経済活動は正常化してきており、所得情勢には回復への足踏みがみられるものの、個人消費、設備投資、生産活動、雇用情勢には持ち直しの動きがみられます。

消費者心理は、物価の上昇に賃金の伸びが追いつかず厳しい状況にあり、消費者購買行動では節約志向が継続しています。

水産物流通業界における需要動向については、新型コロナウイルス禍からの社会活動の正常化が進み、外食・宿泊・インバウンド関連需要は回復しつつあるものの、内食関連需要は消費者物価の高止まり等から総じて縮小しつつあります。

また、価格動向については、円安やコスト上昇などを反映して、輸入水産物を始め、国内水産物においても調達価格は一部に下落はあるものの全般的に上昇し、これに呼応して販売価格も上昇しています。

業界環境としては、価格上昇により需要が全般的に伸び悩む中、業種・業態の垣根を越えた販売競争が繰り広げられるなど、厳しい状況下にあります。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

また、『OUGグループ中期経営計画2021』（2021年度～2023年度）の最終年度に当たり、当社グループは、引き続きグループ横断的な4つの重点テーマである「鮮魚事業（取引）の拡大」、「加工事業（取引）の拡大」、「エリア戦略の推進」、「海外事業の推進」について、バリューチェーンの最適化を意識したグループ役職員の個々の行動変容を通じ、業績を向上させるべく取り組んでまいりました。

(2)対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス禍から国内の経済活動は正常化していくものと予想されます

が、円安の進行、消費者物価の高騰、実質賃金の減少など厳しい経済情勢が続くものと見込まれます。

水産物流通業界における需要動向については、外食・宿泊・インバウンド関連需要は堅調に推移するものの、内食関連需要は生活防衛意識を反映して総じて伸びにくい状況下にあると予測されます。

当社におきましては、2021年度から2023年度を対象とした『OUGグループ中期経営計画2021』（以下「前中計」という）の遂行期間が終了し、一部指標等に未達はありますが、業績値は累計期間で計画を達成することができました。

2024年度からは、新たに3カ年（2026年度まで）を対象とした『OUGグループ中期経営計画2024』（以下「本中計」という）を策定し、遂行してまいります。

本中計は、グループの経営環境を再確認するとともに、基本的には前中計の考え方を踏襲し、前中計の遂行によって得られた知見等を踏まえ、その発展形として策定しました。

事業推進に当たっては、継続してバリューチェーンの最適化を意識したグループ役職員の個々の行動変容を通じ、1.「鮮魚事業の強化」、2.「商品力の強化」、3.「関東マーケットの深耕・拡大」、4.「海外事業の拡大」、5.「サステナブルな事業活動」に取り組んでまいります。

また、経営基盤の整備・強化に当たっては、1.「事業ポートフォリオの見直し等の財務関連」、2.「人的資本充実等の人事関連」、3.「基幹業務システム導入等のシステム関連」、4.「IRの体制整備・充実」、5.「品質保証活動の充実・高度化」、6.「サステナビリティの推進」、7.「共通機能の高度化」のテーマに取り組んでまいります。

このような企業活動を通じ、「資本コストや株価を意識した経営の実現」に向けて取り組むとともに、お客様に価値ある商品とサービスを提供することにより食文化の発展に貢献し、企業価値を最大化してまいります。

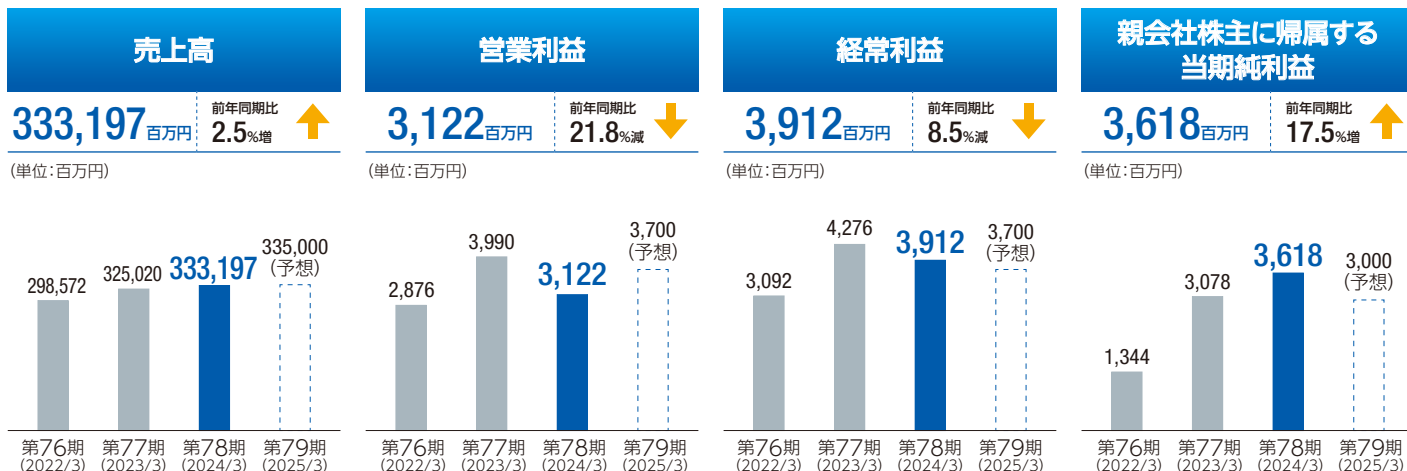
次期の業績に関しましては、売上高3,350億円、営業利益37億円、経常利益37億円、親会社株主に帰属する当期純利益30億円を見込んでいます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## [業績ハイライト] 第78期の連結業績

### 決算のポイント

各部門間での一層の連携強化を図ったほか、市場外水産物卸売事業等で、仕入費用等諸費用を意識した営業展開等により、活発な営業活動を実施し業績に寄与しました。



## セグメント別の概況



### 水産物荷受事業

201,724 百万円

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、外食・中食関連の販売が回復傾向にある一方で、総じて商品調達コストが上昇する中で内食関連需要は縮小。主要商材の一部に相場下落が生じたものの、当該在庫の早期販売を積極的に進めたことにより、前期に比べ売上高は増加、セグメント利益は減少しました。



### 市場外水産物卸売事業

131,381 百万円

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、外食・宿泊・インバウンド関連需要が回復傾向にあることに加え、上昇する商品調達コスト等を販売価格へ転嫁したことにより、前期に比べ売上高は増加、セグメント利益については大幅に増加しました。



### 養殖事業

9,175 百万円

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、養殖ブリの在池量が多く販売価格が低下したことに加え、餌料の高騰等による生産原価の上昇もあり、前期に比べ売上高、セグメント利益ともに減少しました。



### 食品加工事業

4,368 百万円

水産・米飯・野菜の加工・調理サービスなどを行う食品加工事業では、量販店向けの米飯加工やホテル・ブライダル向けの販売は回復傾向にあるものの、輸入原料の調達コストが高止まりしていることに加え、カット野菜の販売が減少したことにより、前期に比べ売上高、セグメント利益ともに減少しました。



### 物流事業

1,745 百万円

物流事業は、運送原価が上昇したものの、センター業務売上およびギフト作業売上の増加により、前期に比べ売上高、セグメント利益ともに増加しました。



グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、前期に比べ売上高、セグメント利益ともに増加しました。

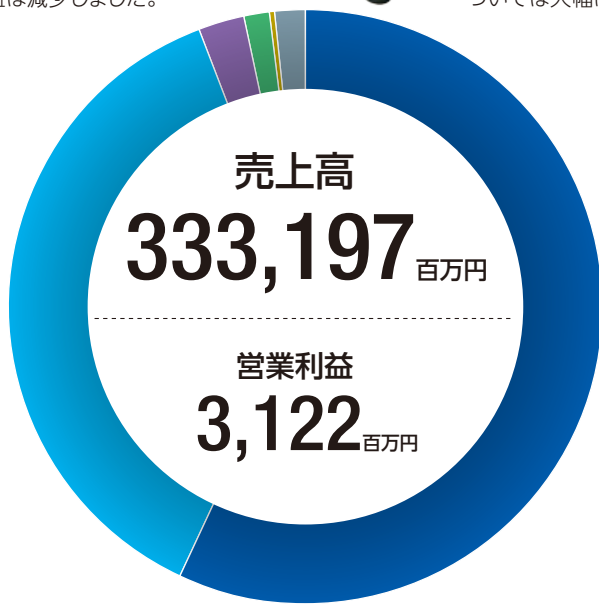
### その他

4,911 百万円



売上高  
333,197 百万円

営業利益  
3,122 百万円





# 「OUGグループ中期経営計画 2024」 を策定いたしました。

2024年度～2026年度（2024年4月～2027年3月）

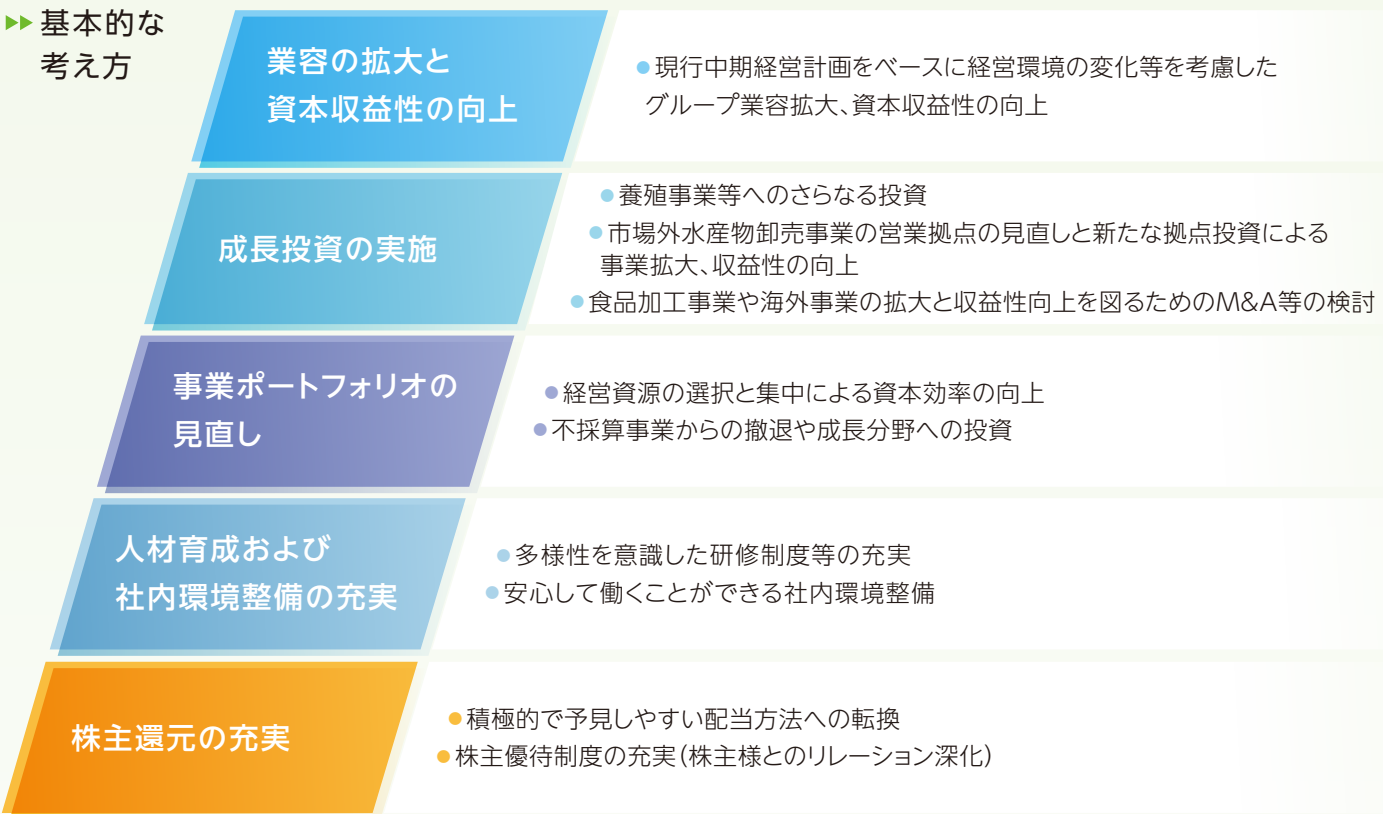
当社グループは、2027年3月期を最終年度とする「OUGグループ中期経営計画 2024」を策定いたしました。資本収益性、利益率、資産回転率、財務レバレッジ等の向上を図り、当社グループの成長を加速させていくことで企業価値の増大に努めてまいります。

## ▶▶ 目標数値

	(単位:億円)				(単位:%)		
	2023年度 2024年3月期 (前中計実績)	2024年度 2025年3月期 (新中計目標)	2025年度 2026年3月期 (新中計目標)	2026年度 2027年3月期 (新中計目標)	2023年度 2024年3月期 (前中計実績)	2024年度 2025年3月期 (新中計目標)	
売上高	3,331	3,350	3,380	3,410	ROE	12.7	8.0
営業利益	31	37	41	43	ROIC	4.0	5.0
経常利益	39	37	41	43			

※ROEは、8.0%の水準を維持する  
 ※ROICは、5.0%の水準を維持する

## ▶▶ 基本的な考え方



## ▶▶ 事業戦略

- I. 鮮魚事業の強化
- II. グループ内連携による商品力強化
- III. 関東マーケットの深耕・拡大
- IV. 海外事業の拡大
- (共通) サステナブルな事業活動

## ▶▶ 経営基盤の整備・強化

- I. 財務戦略
- II. 人事戦略
- III. システム戦略
- IV. IR戦略
- V. 品質保証システムの構築
- VI. サステナビリティ課題への対応
- VII. 共通機能の高度化

## 配当方針変更に関するお知らせ

詳しい内容は、こちらよりご覧ください。

<https://www.release.tdnet.info/inbs/140120240509586977.pdf>



### ●変更の理由

当社は、株主の皆様に対する継続的な利益還元を資本コストや株価を意識した経営の実現に向けての重要課題の一つとして認識しております。定額を基本とした配当の考え方から、より積極的で予見しやすい配当方針への転換を検討しました結果、安定的な配当の実現が可能な連結株主資本配当率(DOE)\*を配当額決定の基準として導入することといたしました。

※連結株主資本配当率(DOE)=年間配当総額÷連結株主資本×100

### ●変更後

中長期的な経営基盤の安定強化および成長投資に必要な内部留保の確保に十分留意しつつ、連結株主資本配当率(DOE)\*1.6%を目標に安定的な配当水準を維持することを基本方針といたします。中長期的には、株主資本の増加と連結株主資本配当率(DOE)\*の引き上げによる配当水準の向上を目指してまいります。

## 「株主優待制度」のご案内

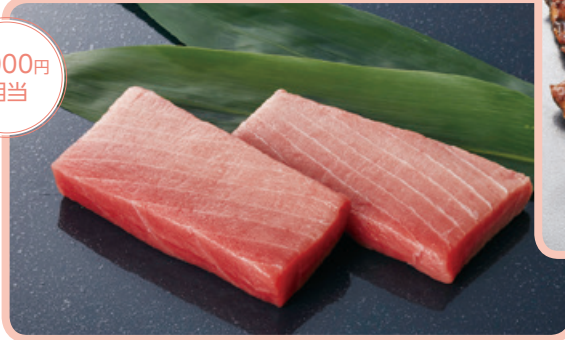
詳しい内容は、こちらよりご覧ください。

<https://www.oug.co.jp/ja/ir/stock/benefit.html>



### 養殖本まぐろ中とろ

8,000円相当



### 蒲焼きうなぎセット

8,000円相当



ほたて貝柱

4,000円相当



8,000円相当



ずわいがに

## 感謝の気持ちを込めて おいしい「株主優待」を お届けします。

株主の皆様の日頃のご支援への感謝の気持ちとともに、より多くの株主様に当社グループをご理解していただきたいという想いを込めて、選りすぐりのおいしさをお届けします。

4,000円相当



味付け数の子・いくらセット

### 【基準日】

毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主様

### 【贈呈時期】

12月中旬

### 【優待内容】

保有株式数	継続保有期間	優待内容
100株以上 500株未満	3年未満	2,000円相当の水産加工品(当社指定品)贈呈
	3年以上	4,000円相当の水産加工品(数品目から1品選択)贈呈
500株以上	3年未満	4,000円相当の水産加工品(当社指定品)贈呈
	3年以上	8,000円相当の水産加工品(数品目から1品選択)贈呈

### 継続保有期間(3年以上)のルール

毎年9月30日および3月31日において、同一株主番号で連続して7回以上株主名簿に記載または記録された株主様が対象となります。(詳細につきましては、当社ホームページをご参照ください。)

※紹介している株主優待品および画像は昨年実績です。

# 会社情報 / 株式の状況

## 会社概要

(2024年3月31日現在)

社名	OUGホールディングス株式会社
主要な事業内容	定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。
設立	1946年6月12日(創業1947年10月1日)
資本金	6,495百万円
従業員数	連結1,327名 単独30名

## 役員体制

(2024年3月31日現在)

取締役	代表取締役社長	橋爪	康至
	代表取締役	中江	一夫
	取締役	岩佐	勇人
	取締役	竹田	誠
	取締役	中迫	猛
	取締役	三浦	正晴(社外取締役)
	取締役	荻野	義明(社外取締役)
監査役	常勤監査役	辰	清広
	監査役	和田	徹(社外監査役)
	監査役	小竹	伸幸(社外監査役)
	監査役	石川	英機(社外監査役)
	顧問	勝田	昇
執行役員	常務執行役員	山田	稔
	常務執行役員	中村	耕

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行(特別口座管理機関)の上記連絡先の電話(受付時間:土日・祝祭日等を除く平日9:00~17:00)およびインターネット(24時間)でも承っております。  
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場金融商品 取引所	東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード8041)
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス <a href="https://www.oug.co.jp/ja/index.html">https://www.oug.co.jp/ja/index.html</a>

免責条項  
本年次報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。  
実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

## 株式の状況

(2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	20,915,900株
発行済株式の総数	5,562,292株
株主数	13,709名

## 大株主(上位10名)

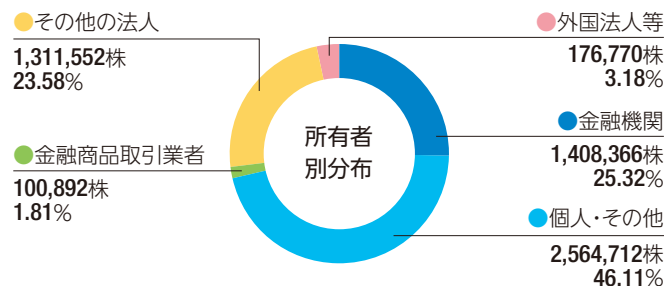
(2024年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
マルハニチロ株式会社	745	13.84
日本生命保険相互会社	265	4.92
農林中央金庫	263	4.90
株式会社りそな銀行	147	2.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	142	2.65
株式会社みずほ銀行	140	2.60
三菱UFJ信託銀行株式会社	121	2.26
丸大食品株式会社	115	2.14
OUGグループ従業員持株会	114	2.12
株式会社丸徳水産	110	2.05

- (注) 1. 当社は自己株式を179,567株(失念株式100株を含む)保有しておりますが、上記の大株主(上位10名)からは除いております。  
2. 持株比率は、自己株式(179,467株)を控除して計算しております。

## 株式分布状況

(2024年3月31日現在)



## WEB INFORMATION

当社ホームページでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表のページ、動画によるグループ各社の紹介、株主優待品を掲載した株主優待のページなど様々な情報を掲載しておりますので、ぜひご活用ください。



各詳細情報はこちらからご覧ください

<https://www.oug.co.jp/ja/index.html>



# OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田二丁目13番5号 OUG野田ビル5階  
TEL : 06-4804-3031 FAX : 06-4804-3145

